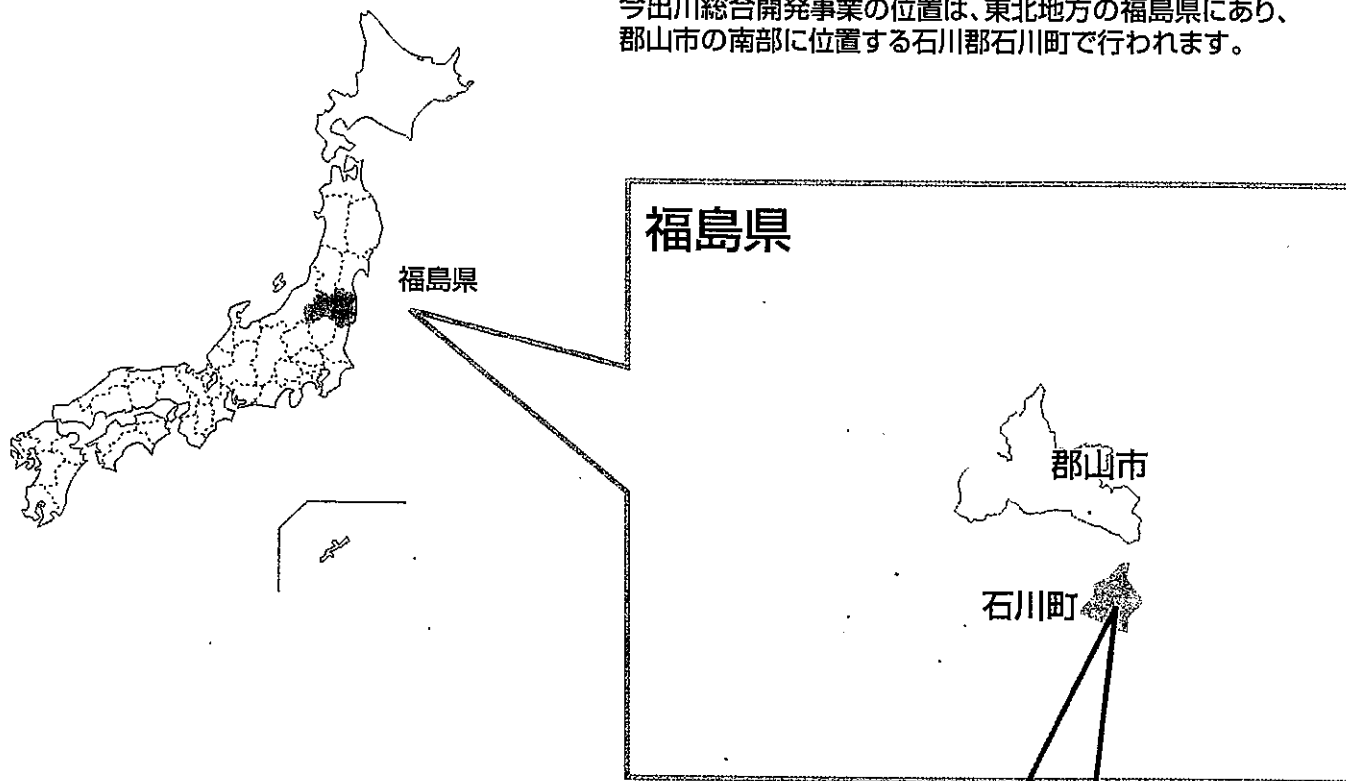


今出川総合開発事業の位置

場所はどこなのですか？

今出川総合開発事業の位置は、東北地方の福島県にあり、郡山市の南部に位置する石川郡石川町で行われます。

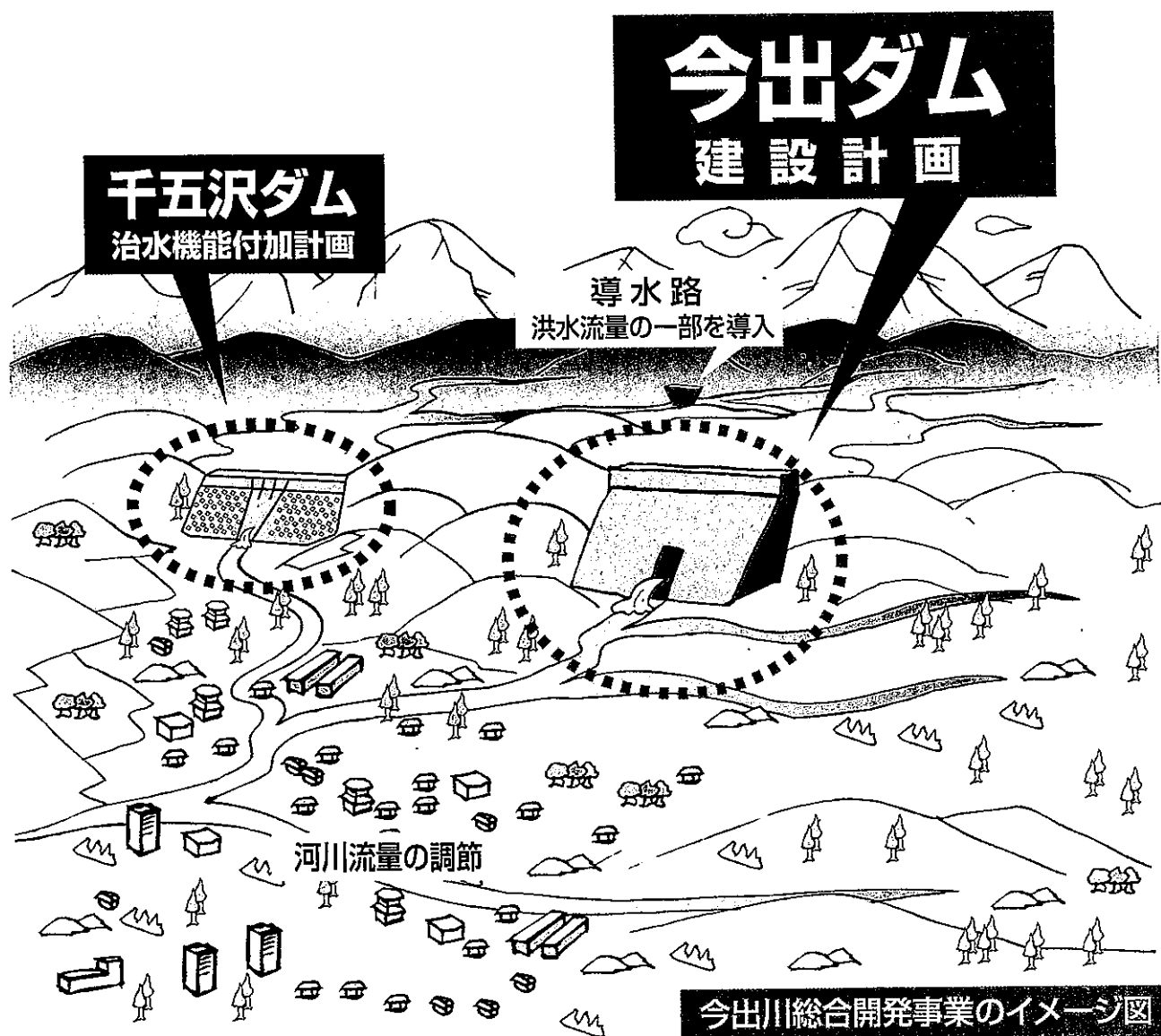


どんな内容なのですか？

今出ダム建設計画

千五沢ダム治水機能付加計画

今出川総合開発事業は、石川郡石川町の今出川の建設する今出ダムと北須川の既存千五沢ダムに治水機能を付加する2ダム1事業で、2ダムによる洪水調節、今出ダムによる水道用水の確保、河川環境の保全、既得取水の確保など県中地方の地域づくりを支援する事業なのです。



今出ダムと千五沢ダムにはどんなはたらきが？

1 洪水調節

河川の異常出水に対しダムで調節し、石川町及び阿武隈川流域を水害から守ります。

2 水資源の開発

水洗トイレの普及など生活様式の変化に伴う水需要の増加及び、県中地域プロジェクトを支援するため、新たな水資源の開発を行い安定的に水を供給します。

3 河川流量の維持及び既得取水の安定化

今出川と北須川の河川環境の保全（動植物の保護、水質保持等）を図るとともに、既得取水に対し安定した補給を行います。

4 活性化の拠点として

ダム湖及び周辺地域と水と緑のオープンスペースとして利活用することにより、地域の活性化に重要な役割を果たします。

今までどんな事業をしてきたの？

【事業の経緯】

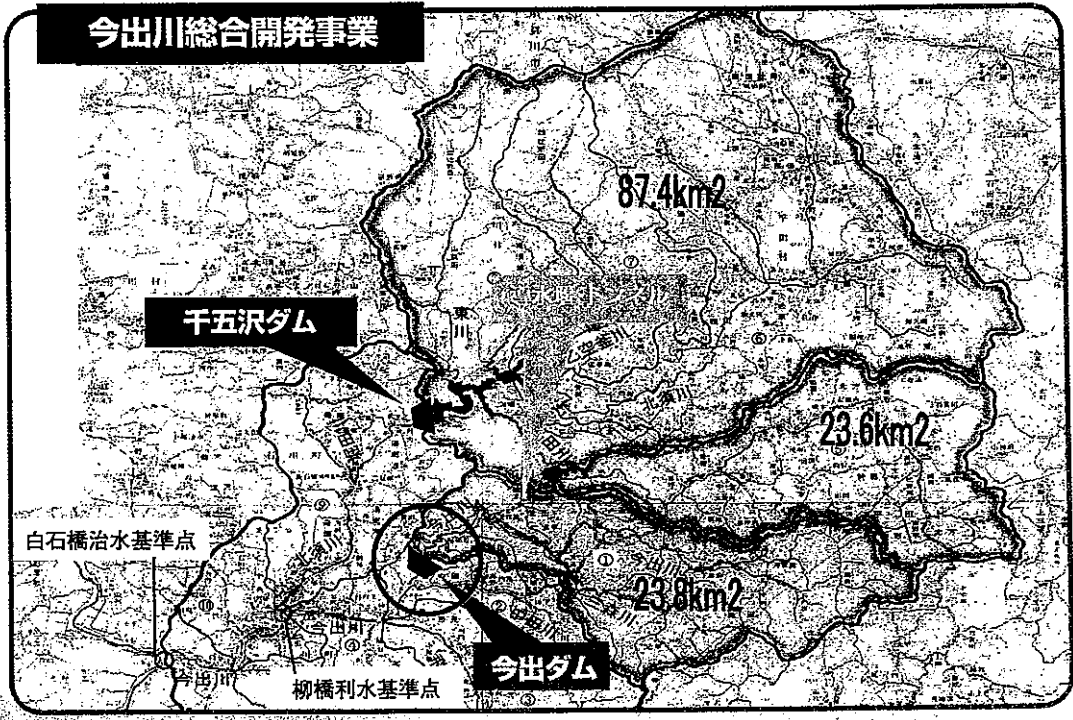
	今出ダム	千五沢ダム
昭和42年		東北農政局「国営総合農地開発事業」に着手
昭和50年		ダム完成
平成元年	今出ダム単独による実施計画調査着手	
平成5年	千五沢ダムを含めた2ダム1事業計画策定開始	
平成6年		受益面積確定(3,957haから2,081haに縮小)
平成8年	2ダム1事業として建設事業採択	
平成8～9年	東北農政局に対し、千五沢ダム治水負担金を支払う	
平成13年	ダムサイトを1km上流に変更	

水質」について。

今出ダムの概要

今出ダム建設計画

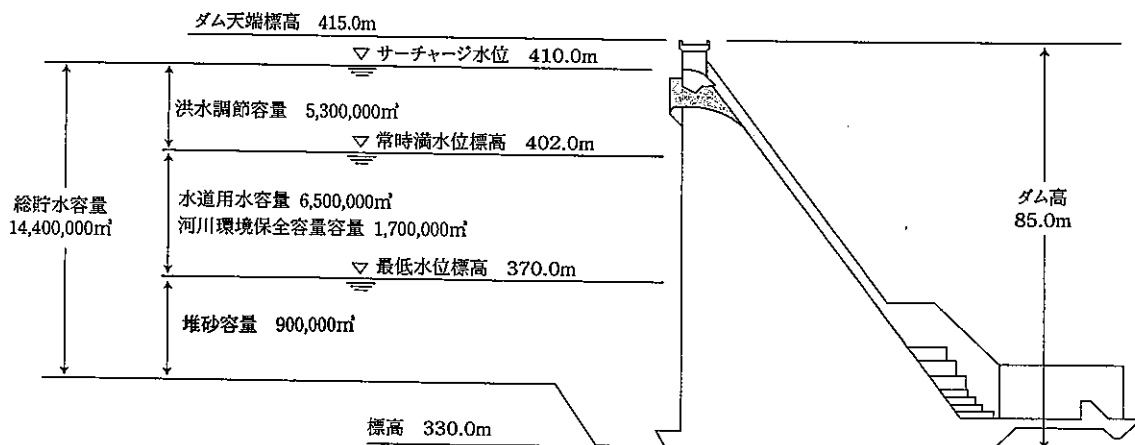
今出ダムが完成することにより、千五沢ダムとの2ダムによる洪水調節、水道用水の確保、河川環境の保全の役割を果たしていくことになります。



I 今出ダム・千五沢ダムの諸元

		今出ダム	千五沢ダム
水系及び河川名		阿武隈川水系今出川	阿武隈川水系北須川
位置	左岸	石川町大字中田	石川町大字湯郷渡
	右岸	石川町大字双里	石川町大字母畑
目的	洪水調節	ダム地点でダムがない場合の流量200m ³ /sのうち140m ³ /sの洪水調節を行う	ダム地点でダムがない場合の流量290m ³ /sのうち110m ³ /sの洪水調節を行う
	河川流量の確保	既得取水安定化及び河川環境保全のための流量を確保する	既得取水安定化及び河川環境保全のための流量を確保する
	水道用水	郡山市、須賀川市、鏡石町、石川町、玉川村、平田村、浅川町へ30,000m ³ /日	—————
	かんがい用水	—————	最大3.088m ³ /s
ダムの諸元	形式	重力コンクリートダム	中央コアゾーン型アースダム
	ダム高	85.0m	43.0m
	ダム堤長	310.0m	176.5m
	ダム体積	約400,000m ³	538,000m ³
	調節方式	自然調節方式	自然調節方式
洪水調節	治水安全度	1/70(年)	
	氾濫防止面積	186ha	
	浸水防止戸数	1,280戸	

II 今出ダムの標準断面図及び容量配分図

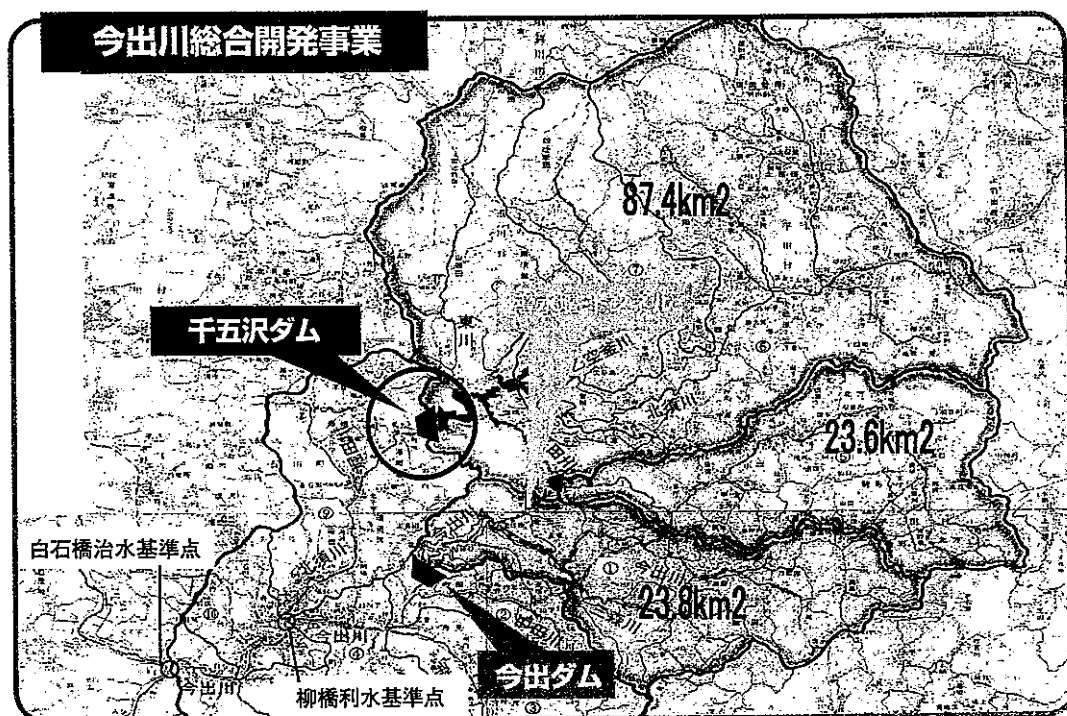
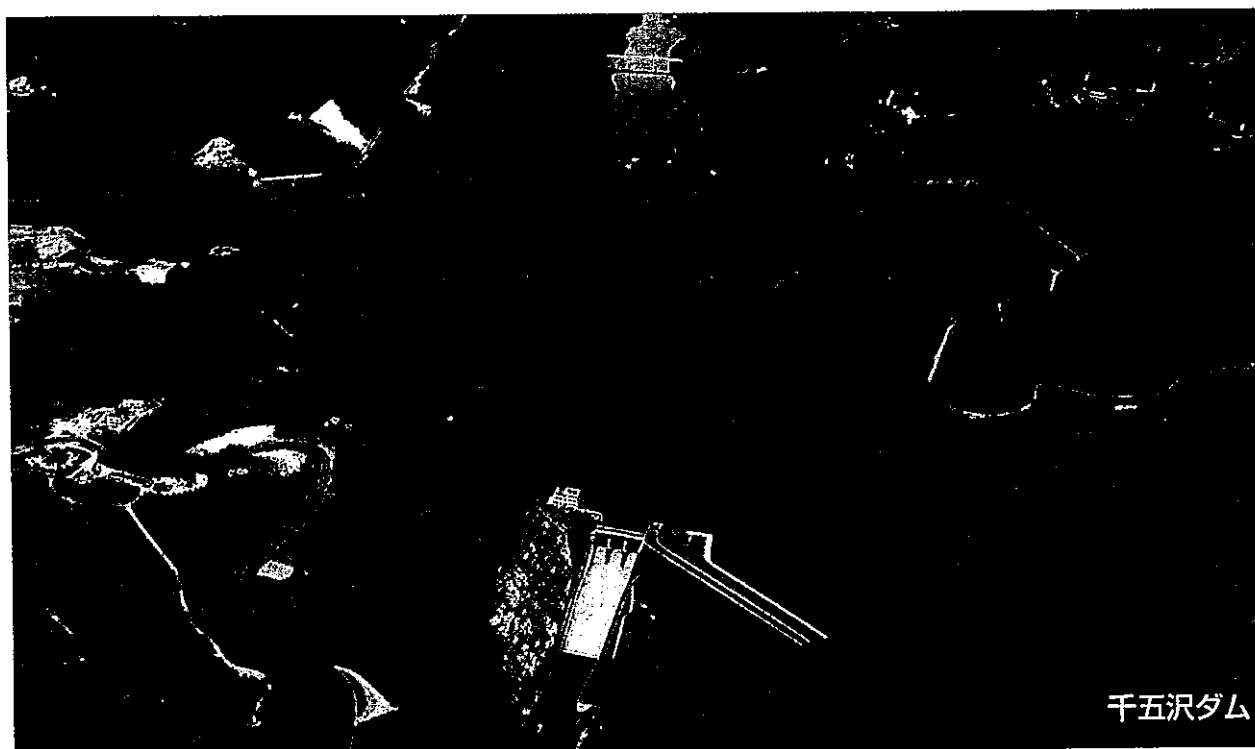


「ダム」について。

千五沢ダムの概要

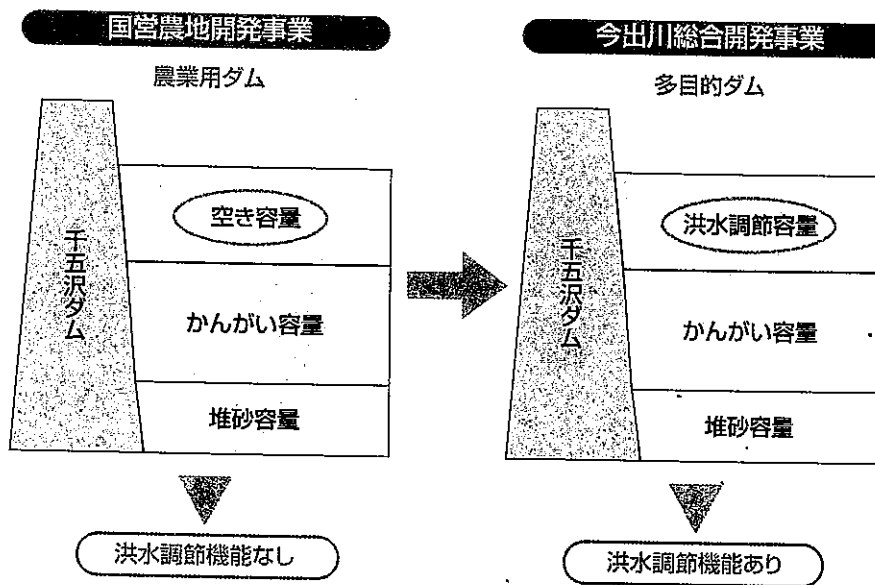
治水機能付加計画

千五沢ダムは昭和50年に完成した農業専用ダムです。
治水機能を付加することで、今出ダムとの2ダムによる洪水調整が可能となります。



I 千五沢ダムの空き容量の治水活用

千五沢ダムは、国営農地総合開発事業の基幹施設として昭和50年に完成した農業専用ダムで、洪水調節機能を持っていません。その後の農業情勢の変化により受益面積が3,957haから2,081haに減少し空き容量が生じました。今出川総合開発事業では、その空き容量を洪水調節容量に振替え、今出ダムと千五沢ダムの2ダムにより洪水調節を行い、石川町を洪水被害から守ります。



I 千五沢ダム改築計画

千五沢ダムに洪水調節機能を持たせるためには、堤体の一部を改築する必要があります。改築計画は、既設洪水吐きの改造、非常用洪水吐きの新設を行います。

千五沢ダムの標準断面図及び容量配分図

